

## 課題名

「在米日系人における医薬品及びサプリメント服用状況についての調査」  
について

### ○研究の目的

日米において医療保険制度は異なっており、そのため医薬品の飲み残しやセルフケアの概念などの疾病治療や予防に対する意識も異なっていると考えられます。日本において医薬品の飲み残しに対する意識とその実態について調査が行われていますが、米国では行われていません。そこで、日米における、医薬品やサプリメントに対する患者の考え方や薬剤師の関わり方の違いについて調査します。

### ○研究の方法

平成 27 年 8 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日までに、広島大学在米日系人健康診断を受診したロサンゼルス在住の日系人を対象とします。

生活習慣病に関わる医薬品もしくはサプリメントを服用している受診者の服用状況について平成 27 年度在米日系人医学調査のアンケート結果を集計・解析します。(研究期間 承認後～平成 31 年 3 月 31 日)

### ○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

**不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。**

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....  
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰 (研究責任者)

薬剤師 平田 かおり (研究担当者)